

DX基本計画における「原則」と「ルール」 確定版

- 4/10の事務局MTGの指摘を受け、修正

#	原則 (Principles)	ルール (Rules)
1	市民サクセスの原則	行政起点ではなく、市民が便利さやメリットを実感できるサービスを目指すこと 目指す情報が得やすく、使いやすく、わかりやすい、そして堅牢なサービスにすること サービスの利便性を考慮して、業界や組織の壁を越えた円滑なデータ連携と相互でその運用管理が行えるようにすること
2	透明性と権利保護の原則	明確でわかりやすい形で個人データの取扱い状況を確認でき、市民の意思でいつでもその使用の停止・再開ができるようにすること
3	安心・安全ファーストのサービス設計の原則	個人データやプライバシー保護を意識した施策を、企画・設計段階から組み込むこと データ連携するシステム等は、市が指定するサイバーセキュリティ対策を講じること 個人データの不適切利用や情報流出等に備えた体制を市及びサービス運営者で構築し、それらが発生した際には、迅速かつ適切な対応をすること
4	市民協働型ガバナンスの原則	サービス運営者と市民が積極的にDX推進やその方向性に関与し、サービス運営者と協働で運営すること 同じ目的・方向に向かって協力し合い、創出される相乗効果で効果的に達成すること 間違いや失敗を前向きな学びと捉え、DX推進時には、この原則やルールの順守状況等を確認し、ブラッシュアップすること
5	データリスクの見える化と対応策実施の原則	個人データの利活用の際にリスク評価を行い、その対応策を講じること



①市民への宣言

1. 市民中心/市民ファースト/市民目線

1. ヒューマンファースト

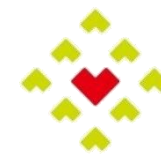
一人ひとりのしあわせを目指します

2. 透明性の確保

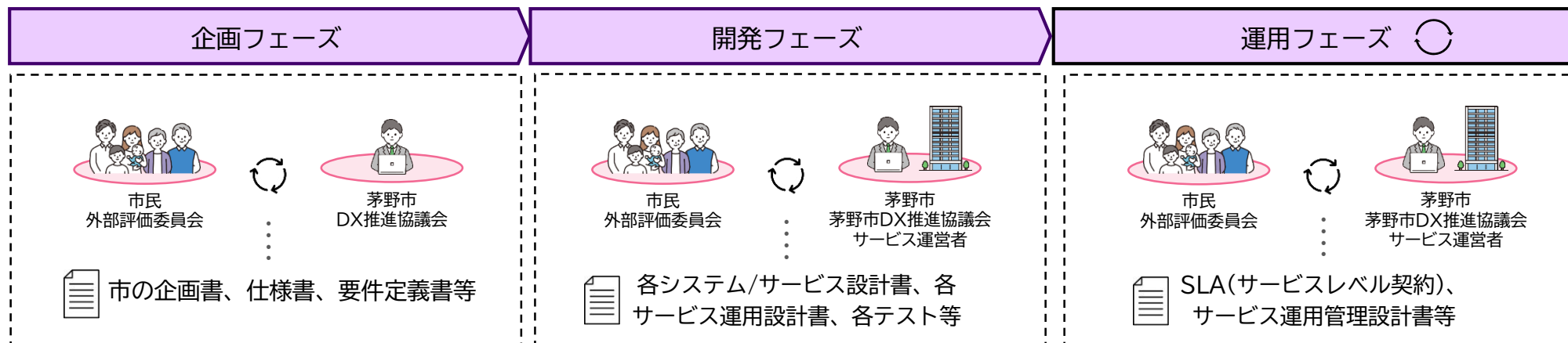
一人安全を守ります

3. 共 創

一人市民と共同して創ります



サービス運営者が守るべき5つの原則とルールの適用(仮称)



5つの原則

1	市民サクセスの原則	✓ 企画の内容が行政起点となっていないか？ ✓ 課題の優先順位は最適か？	✓ 前フェーズの要求/要件事項が反映されているか？ ✓ 市民の利便性に考慮したサービス設計か？	✓ データ連携に係る運用が円滑に実施されているか？
2	透明性と権利保護の原則	✓ 情報の取扱いやその運用管理が考慮されているか？	✓ 利用者の意思でサービス使用の停止等ができるような設計となっているか？	✓ 利用者の意思でサービス使用の停止等ができるサービスが提供されているか？
3	安心・安全ファーストのサービス設計の原則	✓ 個人データやプライバシー保護についての要望/要求事項が盛り込まれているか？	✓ 個人データやプライバシー保護の施策やセキュリティ対策が設計されているか？	✓ 個人データやプライバシー保護の施策やセキュリティ対策が実装・運用されているか？
4	市民協働型ガバナンスの原則	✓ 市民との協働体制で計画的に議論が進められているか？	✓ 市民との協働体制で計画的に議論が進められているか？ ✓ 本ルールの順守状況が確認されているか？	✓ 市民との協働体制でサービスの運用状況について、定期的に議論が進められているか？ ✓ 本ルールの順守状況が確認されているか？
5	データリスクの見える化と対応策実施の原則	✓ 個人情報を利用(または関連)するサービスか？ ✓ PIA(プライバシー影響評価)の実施が必要か？	✓ PIAが実施され、結果を踏まえた対策がされているか？	✓ PIA(プライバシー影響評価)の結果が反映された運用がされているか？

補足資料



原案（第四回データガバナンス部会資料）

市民と運営者が、協働で茅野市DXに取り組むにあたり、次のルールを定めます。

1. 市民サクセスの原則：行政起点ではなく、市民が便利さやメリットを実感できるサービスを目指すこと
2. ~~市民目線のサービス：目指す情報が得やすく、使いやすい、わかりやすい、そして堅牢なサービスにすること(☞他の項目に統合)~~
3. 市民の義務と権利の保護：データは市民個人のもので 個人の同意(オプトイン)に基づき利用し、市民の意思でいつでも状況確認やオフ・オンできるようにすること
4. 安心・安全ファーストのサービス設計：企画・設計段階から、個人情報やプライバシー保護を意識し施策を組み込むプライバシー・バイ・デザインを原則とすること
5. 市民協働型ガバナンス：サービス運営者と市民が積極的にDX推進や方向性に関与し、サービス運営者と協働で運営すること
6. 市民と運営者のパートナーシップ：同じ目的・方向に向かって協力し合い、創出される相乗効果を通して目的を効果的に達成すること
7. データのリスクの見える化と対策：プライバシーリスクを早期に発見および是正できる仕組みで対応 個人データの利活用に際し、リスク評価を行い、その対策を講じること
8. 間違いや失敗は前向きな学びとして、このルールは、状況に応じて柔軟にバージョンアップできるようにすること
9. DX推進時は、本ルールの実効状況の確認とブラッシュアップを行うこと



原案 - 第四回部会議論等を踏まえ、文言を整理 -

1. 市民サクセスの原則 : 行政起点ではなく、市民が便利さやメリットを実感できるサービスを目指すこと
2. **市民フレンドリーのサービス** 市民目線のサービス : 目指す情報が得やすく、使いやすく、わかりやすい、そして堅牢なサービスにすること
3. ~~市民の義務と権利の保護~~ : ~~データは市民個人のもので個人の同意(オプトイン)に基づき利用し、市民の意思でいつでも状況確認やオフ・オンできるようにすること~~ **3. 透明性と権利保護の原則: 明確でわかりやすい形で個人情報**の取扱い状況を確認でき、**市民の意思でいつでもオフ・オンできるようにすること**
4. 安心・安全ファーストのサービス設計 : 企画・設計段階から、個人情報やプライバシー保護を意識し施策を組み込むプライバシー・バイ・デザイン**を基本**とすること
5. 市民協働型ガバナンス : サービス運営者と市民が積極的にDX推進や方向性に関与し、サービス運営者と協働で運営すること
6. 市民と運営者のパートナーシップ : 同じ目的・方向に向かって協力し合い、創出される相乗効果**で、**~~を通して~~目的を効果的に達成すること
7. データのリスクの見える化と対策 : プライバシーリスクを早期に発見および是正できる仕組みで対処 個人データの利活用に際し、リスク評価を行い、その対策を講じること
8. ~~間違いや失敗は前向きな学びとして、このルールは、状況に応じて柔軟にバージョンアップできるようにすること~~
8. 柔軟性と適応性の原則 : 間違いや失敗を前向きな学びと捉え、プロジェクト推進時には、原則やルールの順守状況を確認し、必要に応じて最適化ブラッシュアップすること
9. ~~DX推進時は、本ルールの実効状況の確認とブラッシュアップを行うこと~~



DX基本計画における「原則」と「ルール」(第五回デーガバ部会資料)

#	原則 (Principles)	ルール (Rules)
1	市民サクセスの原則	行政起点ではなく、市民が便利さやメリットを実感できるサービスを目指すこと
2	市民目線のサービス	目指す情報が得やすく、使いやすく、わかりやすい、そして堅牢なサービスにすること
3	透明性と権利保護の原則	明確でわかりやすい形で個人情報の取扱い状況を確認でき、市民の意思でいつでもオフ・オンできるようにすること
4	安心・安全ファーストのサービス設計	企画・設計段階から、個人情報やプライバシー保護を意識し施策を組み込むプライバシー・バイ・デザインを基本とすること
5	市民協働型ガバナンス	サービス運営者と市民が積極的にDX推進や方向性に関与し、サービス運営者と協働で運営すること
6	市民と運営者のパートナーシップ	同じ目的・方向に向かって協力し合い、創出される相乗効果で効果的に達成すること
7	データのリスクの見える化と対策	個人データの利活用に際し、リスク評価を行い、その対策を講じること
8	柔軟性と適応性の原則	間違いや失敗を前向きな学びと捉え、プロジェクト推進時には、原則やルールの順守状況を確認し、ブラッシュアップすること



DX基本計画における「原則」と「ルール」 修正案①

- 第5回部会の議論を受け、ルールの文言にカタカナ用語が多いと読み手への安心感につながらないため、文言を精査し修正
- 原則に重複感があるため、一部統合

#	原則 (Principles)	ルール (Rules)
1	市民サクセスの原則	行政起点ではなく、市民が便利さやメリットを実感できるサービスを目指すこと
		目指す情報が得やすく、使いやすく、わかりやすい、そして堅牢なサービスにすること
2	透明性と権利保護の原則	明確でわかりやすい形で個人データの取扱い状況を確認でき、市民の意思でいつでもその使用の停止・再開ができるようにすること
3	安心・安全ファーストのサービス設計	個人データやプライバシー保護を意識した施策を、企画・設計段階から組み込むこと
4	市民協働型ガバナンス	サービス運営者と市民が積極的にDX推進やその方向性に関与し、サービス運営者と協働で運営すること
		同じ目的・方向に向かって協力し合い、創出される相乗効果で効果的に達成すること
5	データリスクの見える化と対応策実施の原則	個人データの利活用に際しリスク評価を行い、その対策を講じること
6	柔軟性と適応性の原則	間違いや失敗を前向きな学びと捉え、DX推進時には、この原則やルールの順守状況等を確認し、ブラッシュアップすること



DX基本計画における「原則」と「ルール」 修正案②

- 修正案①の#6を#4のルールへ統合（評価・方向付けのガバナンスEDMモデルの一環として捉えた）
- 原則という文言を全てにつけた

#	原則（Principles）	ルール（Rules）
1	市民サクセスの原則	行政起点ではなく、市民が便利さやメリットを実感できるサービスを目指すこと
		目指す情報が得やすく、使いやすく、わかりやすい、そして堅牢なサービスにすること
2	透明性と権利保護の原則	明確でわかりやすい形で個人データの取扱い状況を確認でき、市民の意思でいつでもその使用の停止・再開ができるようにすること
3	安心・安全ファーストのサービス設計の原則	個人データやプライバシー保護を意識した施策を、企画・設計段階から組み込むこと
4	市民協働型ガバナンスの原則	サービス運営者と市民が積極的にDX推進やその方向性に関与し、サービス運営者と協働で運営すること
		同じ目的・方向に向かって協力し合い、創出される相乗効果で効果的に達成すること
		間違いや失敗を前向きな学びと捉え、DX推進時には、この原則やルールの順守状況等を確認し、ブラッシュアップすること
5	データリスクの見える化と対応策実施の原則	個人データの利活用に際しリスク評価を行い、その対応策を講じること



DX基本計画における「原則」と「ルール」 修正案③

- 修正案②に“データ連携”のルールを記載（“データ連携”を取り込む検討経緯は2024/3/6付けTeams投稿に記載）

#	原則（Principles）	ルール（Rules）
1	市民サクセスの原則	行政起点ではなく、市民が便利さやメリットを実感できるサービスを目指すこと 目指す情報が得やすく、使いやすく、わかりやすい、そして堅牢なサービスにすること サービスの利便性を考慮して、業界や組織の壁を越えた円滑なデータ連携と相互でその運用管理が行えるようにすること
2	透明性と権利保護の原則	明確でわかりやすい形で個人データの取扱い状況を確認でき、市民の意思でいつでもその使用の停止・再開ができるようにすること
3	安心・安全ファーストのサービス設計の原則	個人データやプライバシー保護を意識した施策を、企画・設計段階から組み込むこと データ連携するシステム等は、市が指定するサイバーセキュリティ対策を講じること
4	市民協働型ガバナンスの原則	サービス運営者と市民が積極的にDX推進やその方向性に関与し、サービス運営者と協働で運営すること 同じ目的・方向に向かって協力し合い、創出される相乗効果で効果的に達成すること 間違いや失敗を前向きな学びと捉え、DX推進時には、この原則やルールの順守状況等を確認し、ブラッシュアップすること
5	データリスクの見える化と対応策実施の原則	個人データの利活用に際しリスク評価を行い、その対応策を講じること



DX基本計画における「原則」と「ルール」 修正版④

- 前ページ修正案③に対して、データ流出や不適切利用についてのルールを追加

#	原則 (Principles)	ルール (Rules)
1	市民サクセスの原則	行政起点ではなく、市民が便利さやメリットを実感できるサービスを目指すこと 目指す情報が得やすく、使いやすく、わかりやすい、そして堅牢なサービスにすること サービスの利便性を考慮して、業界や組織の壁を越えた円滑なデータ連携と相互でその運用管理が行えるようにすること
2	透明性と権利保護の原則	明確でわかりやすい形で個人データの取扱い状況を確認でき、市民の意思でいつでもその使用の停止・再開ができるようにすること
3	安心・安全ファーストのサービス設計の原則	個人データやプライバシー保護を意識した施策を、企画・設計段階から組み込むこと データ連携するシステム等は、市が指定するサイバーセキュリティ対策を講じること 個人データの不適切利用や情報流出等に備えた体制を構築し、それらが発生した際には、迅速かつ適切な対応をすること
4	市民協働型ガバナンスの原則	サービス運営者と市民が積極的にDX推進やその方向性に関与し、サービス運営者と協働で運営すること 同じ目的・方向に向かって協力し合い、創出される相乗効果で効果的に達成すること 間違いや失敗を前向きな学びと捉え、DX推進時には、この原則やルールの順守状況等を確認し、ブラッシュアップすること
5	データリスクの見える化と対応策実施の原則	個人データの利活用に際しリスク評価を行い、その対応策を講じること

「DX 基本計画」原則とルールの解説

<

<

「茅野市 DX 基本構想（以降、基本構想という）」の具現化に向けた茅野市 DX 基本計画において、デジタル技術やデータ活用における市民の安全性を担保し、かつ利便の向上を図ることで、当市の“DX”を確実に進めるためのルールを策定します。これは構想の 4 つの柱の中の一つとして位置づけられています。

<

ルール策定にあたり、次の点が考慮される必要があります。

- ・基本構想にある基本理念「たくましく やさしい しなやかな交流拠点 CHINO の実現」に基づく
- ・基本構想のルールに記載されている国や国際的な団体が提唱するルールを参考にして、外部の脅威から市民を守り、人権に最大限配慮したルールを市民とともに策定し、堅持する
- ・「茅野市パートナーシップのまちづくり基本条例」や市のブランドフレーズ「まんやかに愛のあるまち」が示す通り、これまで、ひとりひとりの市民がパートナーシップを形成し、まちづくり活動をしてきたことを踏まえる
- ・市民のための DX であるため、市の特性に生かした DX 推進となるようなルールとする

<

基本理念の“たくましく”からは、国内外の最先端の知見や技術、地域内外の人材と協働、“やさしい”からは、人を思いやる心を守り、守りたいものを守るために変えることを惜しまない、“しなやか”からは、多様な市民が協力しあい、市民力を発揮する。

これまでの行政事業とは一線を画し、市から市民への一方向ではなく、コミュニケーションを取りながら進め、市民に目を向けたサービスとなるようにルールに盛り込みました。加えて、幅広い年代の市民に使い続けてもらえるサービスとするため、サービスページ画面の見た目や操作のわかりやすさも担保されるように、具体的な文言で表記しました。また、業界における既得権益やサービス事業者の自社利益至上主義等に阻まれずに、市民の利便性を考慮したデータ連携ができるようにルール化しました。←

←

個人データについては、国内外の法令やガイドラインから取扱いの透明性や、安心・安全が考えの基本に置かれています。特に、個人が自分の情報を主体的に自分の意志通りに使用の停止等ができるように、ルール化しています。←

←

これまでの市が担っている行政サービスの枠を越えた幅広い分野で便利なサービスを提供するためには、自ずと協力企業が必要となります。DX は市民の個人データが基となり進められますので、市は、安心・安全が確保されるように、積極的に個人データのリスク評価を行い、その対策を講じるようにすることを仕組みとして取り入れます。そして、DX に関連したサービスの企画・開発に安心・安全の考えが一貫して適用されるように致しました。←

←

具体的な DX の推進は市であるものの、市民も積極的に参画して、ともに良いものを創り上げるという、一歩踏み出した関係となれるようにルールに定めています。そして、市民・企業・行政の相乗効果で、それぞれにメリットのある効果的な進め方ができるようにします。←

定めたルールは、形骸化しないように積極的に用いられるように、定期的に順守状況を確認し、必要に応じてルールを見直しできるように明文化しています。←